

長期入院患者の地域移行支援と

地域定着支援をめざして

I. 基調講演

演題：社会適応訓練事業を活用しての地域での試み

演者：永山盛秀氏（元那覇「ふれあいセンター」所長）

—略 歴—

琉球大学保健学部保健学科卒業後、沖縄県の「コザ保健所」に勤務。以降、精神科の通う仲間とともに「ふれあい工場」（1995年）の開設などを起点として、ほぼ20年間当事者の「社会参加」を支えてきました。

II. シンポジウム

テーマ：精神障害者の地域移行支援と地域定着支援をめぐる

「ふれあいセンター」は、病棟における「つどい」の開催や社会適応訓練事業も活用しての地域から病院に迎えに行く活動を通して、社会的入院状態にある人たちの地域移行支援と地域定着支援に取り組んでいます。当事者の発言を交えて振り返りたいと思います。

今日、いわゆる当事者の「地域移行」という課題に取り組みながら、「ふれあいセンター」から継承できること、あるいは継承すべきことなど、現在なすべき活動について議論を深めたいと思います。

シンポジスト：比嘉博満・週刊情報誌『かわら版』編集長

猿渡進平・医療法人静光園白川病院医療連携室長

笹原義昭・あさきた相談支援センターウィング 所長

永山盛秀・元那覇「ふれあいセンター」所長

コーディネーター：豊田謙二・自治研研究員（熊本学園大学教授・博士）

日時 2016年3月6日（日）午後2:00 開演

会場 福岡自治労会館 福岡市中央区天神5-6-7

主催：福岡県地方自治研究所 問い合わせ先：092-721-1414
(島添・中嶋)

入 場 料
無 料

後援：一般社団法人福岡県精神保健福祉士協会、
日本医療ソーシャルワーク学会、公益社団法人福岡県社会福祉士会、一般社団法人福岡県医療ソーシャルワーカー協会